

# 脳神経疾患画像診断レクチャー

疾患の基礎知識、画像を見るときのポイントなど脳神経疾患画像にまつわるナーズの素朴な疑問に1問1答形式でズバッとお答えします!

第8回

## 髄膜腫 / 聴神経鞘腫



執筆 | 前田正幸 (三重大学附属病院 放射線診断科 講師)

企画

土屋一洋 (杏林大学医学部 放射線医学教室 准教授)

つちや・かずひろ: 1980年 北海道大学医学部卒業, 同年 東大附属病院 放射線科 研修医, 1981年 同 助手, 1984年 公立昭和病院 放射線科 科長, 1985年 防衛医科大学校 放射線医学教室 助手, 1993年 杏林大学医学部 放射線医学教室 講師を経て, 2000年より同 助教授 (2007年より准教授)。

### 1 髄膜腫

### 症例

57歳の男性

会話中突然けいれんで救急搬送

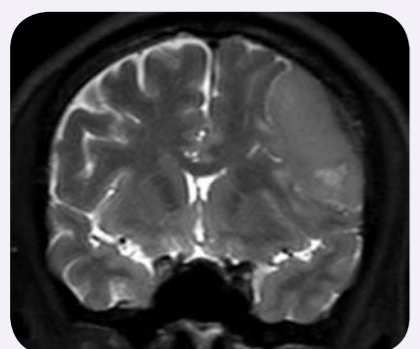
単純CT



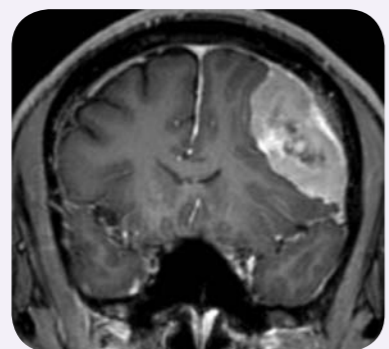
単純CT(骨条件)



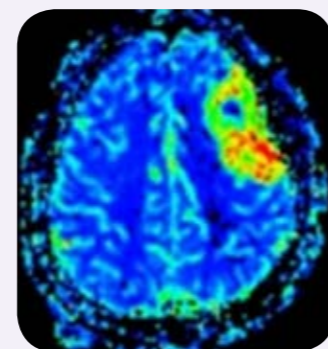
MRIのT2強調像(冠状断)



MRIの造影T1強調像(冠状断)

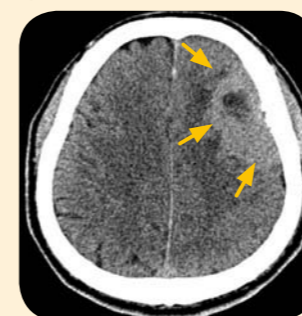


MRIの灌流画像(脳血液量)



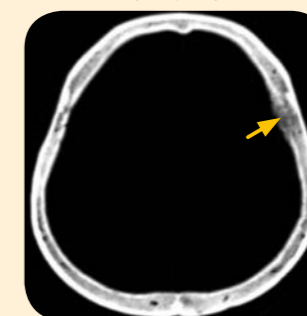
## 画像所見

単純CT



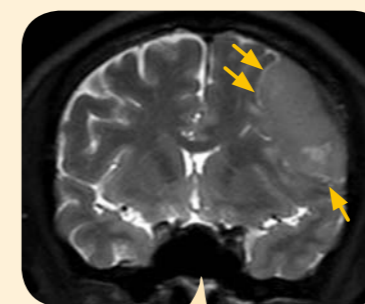
左前頭部には高吸収の腫瘍がある(→)。腫瘍が脳内なのか脳の外にあるのかはCTではわからない。

単純CT(骨条件)



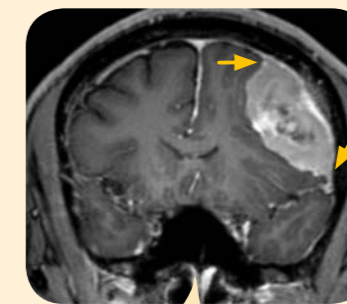
腫瘍の接している頭蓋骨内板に骨肥厚がある(→)。

MRIのT2強調像(冠状断)



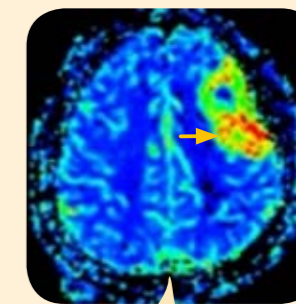
腫瘍と脳実質の間には脳脊髄液がある(→)。したがって、腫瘍は脳の外にあることがわかる。

MRIの造影T1強調像(冠状断)



腫瘍は比較的良好に染まる。腫瘍の辺縁は肥厚した硬膜と連続している(→: dural tail sign)。

MRIの灌流画像(脳血液量)



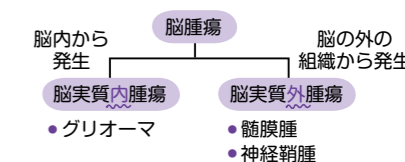
腫瘍の血液量は非常に高く(→), 血流が豊富であることがわかる。

### Q1



脳の外にある腫瘍(脳実質外腫瘍)とはどんなものですか?

脳腫瘍は大きく、脳内から発生した腫瘍(脳実質内腫瘍)と脳の外の組織(髄膜など)から生じた腫瘍(脳実質外腫瘍)の2つに分けられます。脳実質外腫瘍としては、髄膜腫や神経鞘腫などがありますが、髄膜腫は脳実質外腫瘍のなかで最も頻度の高い腫瘍です。一方、脳実質内腫瘍のなかにはグリオーマなどがあります。



### Q2

髄膜腫にはどんな症状がありますか?



髄膜腫はほとんどが良性の腫瘍であり、ゆっくり増大するので、かなり大きなサイズにならないと圧排によるけいれん発作、片麻痺や認知症状などの症状が現れません。また、髄膜腫は頭のいろいろな部位に発生するので、その部位によって症状は違ってきます。最近では頭のCTやMRI検査で、無症状でも見つかることが多くなりました。

